

巻末情報ページ

このページは直接学習とは関係ありません。
情報としてお役立てください。

ピアノガイダンスReport 36

〈連載コラム〉これからを考える 38

在学生アンケートにご協力ください 39
聖徳通信掲載用 在学生アンケート「春期スクーリング&卒業生へのメッセージ」



ピアノガイダンス Report

平成24年12月16日(日)本学にて、
ピアノガイダンスが行われました。
大学・短期大学部の学生21名の方が参加され、
実践的なアドバイスに真剣に取り組んでいました。

ピアノを通して「音」ではなく「音楽」を
聴き手の心に訴えていきましょう。

●プログラム

- 第一部 10:30~12:00 マーチのポイント指導
~休憩~ 12:00~13:00
第二部 13:00~14:30 アドバンストゥ・エチュードのポイント指導



ご担当いただいた 岩野 裕幸先生

🎵 マーチ

No.6 No.9 No.22 No.26 No.34

- ①テンポ……………4分音符≒120位
音楽(曲)として現場で、子どもが元気に歩けるテンポか(イメージすることが大切!!)
- ②付点……………3対1は譜面上の視覚的理解、
算数対比→躍動(心の弾み)が原点
- ③プレス……………2または4小節が単位
- ④拍子感……………4拍子→No.6 No.9 No.26 No.34
3拍子→No.22
- ⑤アウフタクト……………No.26(入り方に注意)
- ⑥左手(伴奏) ……音楽としてメロディ・伴奏のバランスが大切



付点の練習

長短だけでは弾みは得られない。重さ・軽さ(強弱)が大切。

- ①手拍子で付点を打つ(子どもをイメージして楽しく!)
- ②ピアノの同じ音で手拍子と同じように打つ
- ③隣の音で切って打つ
- ④隣の音でつなげて弾く
- ⑤手拍子の付点と④を比べてみる(フィードバックする)

さあ実際に弾いてみよう
音楽を感じながら
心を解放して

🎵 弾き歌いのポイント

- ①音節ごとに書いてみる(詩の意味を知る)まともやすい
(例)大きなくりの木の下で…どこで、誰と誰が、どうする
- ②メロディ(右)を弾きながら歌う 2,4小節ごとにプレス
- ③詩があり、あとから伴奏譜ができた曲が多い



🎵 合否の判断

- 40～80点(5点刻み)
- 40点…途中放棄
- 45点…極めて悪い(曲になっていない)
- 50点…悪い(各所にいろいろミスしている)
- 55点…ミスは少ないが「音楽」として、合格にはできない
- 60点…現場で使えるが…(総合的判断)
- 65点…現場では一応使える
- 70点…音楽的にもよい(子どもの感性を伸ばせる)
- 75点…音楽的である(人を魅了する力を持っている)
- 80点…素晴らしい!



🎵 参加者の声(アンケートより一部抜粋)

大人になってからピアノをはじめました。指が動きにくいので悩んでいましたが、今回のガイダンスを受けて理解することができました。

毎日少しずつでも努力してがんばろうと思います。
本日はとても参考になりました。

とても楽しいガイダンスでした。
定期的にあると嬉しいです。

リズムの取り方が分かりました。
指使いも意識して練習し試験に臨みます。

レッスンを受ける時間がなかなかとれないので、今日のようにまとめてポイントを説明していただけると助かります。

これからを**考**える。

聖徳大学の学びのフィールドは広く、あらゆる方面に実績を残しています。

各学科の教員が発信する、さまざまな学問分野の魅力がたくさん詰まった“連載コラム これからを考える”をお楽しみください。

11

心理学科 准教授

佐伯 素子 (担当科目：発達心理学Ⅰ(幼児・学童)(レポート・スクーリング併用科目))

「人はどのように発達するのか」

私は、通信教育部心理学科で、発達心理学を担当しています。発達心理学というと、子どもの心の発達を理解する学問と考える人も多いでしょう。しかし、子どもの時期は、生涯における一時期にすぎません。発達心理学とは、受胎から死に至るまで、心や行動がどのように変化していくのか、その変化の特徴や発達の法則を明らかにしていく学問です。近年の長寿命化や社会経済的な変化は、成人期以降をただ長く生きるというのではなく、どのように生きるのか、生きることの意味などを含む老年期独特の課題についても目を向けさせることになりました。発達心理学は、まさに現代のニーズにこたえる心理学の一つといえるでしょう。

さて、発達というと、歩けるようになる、言葉を話すようになる、語彙が増えるなど、何かが増大したり、獲得したり、機能的に有能になることと関連づけて考えられがちです。しかし、発達は、必ずしも、増大、獲得といった過程だけでなく、消失、喪失という側面を持ち合わせています。子どもの時期は何かを吸収し、獲得していく過程であって、年をとると衰えていく一方であるというわけではありません。年老いて様々な機能の衰えはあったとしても、何か他のもので補ったり、代わりとなるような道具を用いたりなど、

老年期では知恵を獲得していくことになります。どの時期にあっても人の発達過程は、獲得と喪失の両面を含んだ過程なのです。

「三つ子の魂百まで」ということわざがありますが、発達初期の経験が、その後の発達を規定してしまうとか、成人になったら変化しないというわけではありません。どの時期であっても、変化の可能性もっています。標準的な発達の道筋がある一方で、人の発達には複数の経路があります。違った経路をたどっていても同じ発達の結果につながる可能性もあれば、様々な経験を積みながら、個性的な発達経路をたどっていく場合もあります。

人の発達は、遺伝などの生物学的要因と社会や文化などの環境要因、双方からの影響を受け進んでいきます。生まれおちた環境、社会、文化に適応しながら、自らが生きやすいように、それら環境を創造していく過程であるといっても過言ではありません。成功や失敗経験をどのように意味づけるのか、ストレスにどのように対処していくのか、様々な場面で人は主体的に自らの発達の道筋を選択しながら進んでいきます。通信課程で学ぶ皆さんは、様々な人生経験を積んでおられる方も多いことでしょう。過去を振り返り、いかに今の自分が形成されたのか、これからどのような自分を進んでいくのか、発達の道筋を選択していく主体として自分をとらえていくと、今以上にいろいろなことにチャレンジしていきたくなるかもしれません。



アンケートにご協力ください。
切り離して手順通りに折り、そのままポストに
投函してください。

FAXで送信して下さる方は、この
面を下記番号までお送りください。 **047-331-7422**

オンライン聖徳通信アンケートにもご協力ください。
http://www.seitoku.jp/tk/tk_info/tk_info.html

こんにちは『聖徳通信』です！

『聖徳通信』では、学習上で役立つ情報のさらなる充実を目指し、アンケートを定期的に行っております。
今回のテーマは「**春期スクーリング&卒業生へのメッセージ**」です。以下の項目にしたがって、回答して
ください。回答できる項目だけでも結構です。聖徳通信を通して学友のみなさんと情報交換をしましょう。
※強制するものではありません。

◆学科および在住県 _____ 学科 _____ 県在住(掲載必須)
◆氏名(イニシャル可) _____ (掲載可能な場合のみ記載)

Q1 スクーリングの受講履歴を教えてください(科目数)。

A1 未だない 1科目~3科目 10科目以下 10科目以上

Q2 スクーリングを受講する上で悩みがあればお聞かせください。

A2 時間や日数の確保 距離が遠い
その他(_____)

Q3 春期スクーリングを受講された感想をお聞かせください。
エピソードやこれから受講をされる人へのアドバイスなどもお待ちしております。

A3 [_____]

Q4 春期スクーリング受講で印象に残っている科目はありますか。

A4 科目名: [_____]
理由: [_____]

●今春卒業を迎える卒業生のみなさんにメッセージをお寄せください。

●今後取り上げて欲しいテーマやご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。
通信教育学務課 『聖徳通信3月号』アンケート係

点線のまゝの中のにりをつけて、
のりしろ②にはりつけてください。

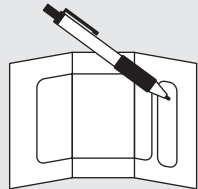
キ
リ
シ
ー
ト

点線のまゝの中のにりをつけて、
のりしろ②にはりつけてください。

キ
リ
シ
ー
ト

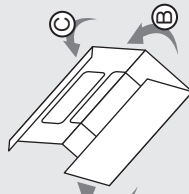
アンケートの郵送手順

1



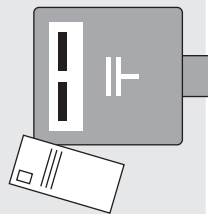
本誌から切取り
アンケートを
ご記入ください。

2



のりを塗り、
④③②の順番で
折り込んで
ください。

3



切手を貼らずに
ポストに投函
してください。

FAXでも受付けています

アンケートは郵送だけでなく、FAXでも受付けています。
下記番号までお送りください。

聖徳大学 通信教育学務課

FAX047-331-7422

ヤマ折り

②ヨリ

ヤマ折り

271-8750

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

聖徳大学 通信教育学務課
聖徳通信アンケート係行



料金受取人払郵便

松戸支店承認

1030

差出有効期限
平成26年2月
25日まで
(切手不要)

ヤマ折り

この部分を折って封をしください。